

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	秋田栄養短期大学
設置者名	学校法人ノースアジア大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	栄養学科	夜・通信	0	2	15	17	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスに教員の実務経験等について明記している。シラバスはホームページ及びポータルサイトにアップしている。 https://www.akita-eiyo.ac.jp/nutrition-curriculum (ホームページ) https://portal.nau.ac.jp/campusweb (ポータルサイト)
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	秋田栄養短期大学
設置者名	学校法人ノースアジア大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.northasia.jp/other/info/NAU-meibo20230430.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和4年1月20日～ 令和6年1月19日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	NPO 法人元参与	令和4年1月20日～ 令和6年1月19日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	秋田栄養短期大学
設置者名	学校法人ノースアジア大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><授業計画(シラバス)の作成過程></p> <p>①様々な事例や文部科学省のホームページ等を参照し、シラバスの作成要領である「〇〇年度シラバス作成の手引き」の見直しを毎年行う。その際は、見やすさはもちろんのこと、項目や記載内容の検討も併せて行っている。</p> <p>②次年度科目担当者が決まり次第、作成要領である「〇〇年度シラバス作成の手引き」を授業科目担当者に送信し、シラバスの作成を依頼している。</p> <p>③提出されたシラバスは、教務委員及び教務課職員がチェックし、必要であれば授業担当者とは連絡を取りながら加筆訂正している。</p> <p><授業計画(シラバス)の作成・公表時期></p> <p>①授業計画の作成は授業担当者が決まり次第随時行っており、新年度の授業が始まる前までには、ホームページ及びポータルサイトにアップしている。また、第1回目の授業の際には、各科目担当者が授業計画について詳細に説明している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページ及びポータルサイトでの公表及び学生への直接配布 (ホームページ) https://www.akita-eiyo.ac.jp/nutrition-curriculum (ポータルサイト) https://portal.nau.ac.jp/campusweb</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

本学では、ホームページ及び学習要覧上に、①単位認定については出席、定期試験、レポート等のほか、担当教員が必要と認める学習結果を総合して合格と判定した場合に所定の単位が与えられること、②単位認定の評価基準は次のとおりとすること、を明記している。またシラバスにも記載している。

判定	合格				不合格
評価	秀	優	良	可	不可
点数	90点以上	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、取得した単位の「質」を数値化した「GPA (Grade Point Average)」を用いている。履修登録した単位数のうち、秀の単位数に4点、優の単位数に3点、良の単位数に2点、可の単位数に1点をそれぞれ乗じ、その合計ポイントを履修登録単位数の総和で除したもので、満点が4.00ポイントになる(不可、履修取消しは0点)。これにより自分自身の学習成果を客観的に把握することができるようになります。」と明記している。

また、学習要覧にも、算出式を載せている。

$$\frac{\text{「秀」単位数} \times 4.0 + \text{「優」単位数} \times 3.0 + \text{「良」単位数} \times 2.0 + \text{「可」単位数} \times 1.0}{\text{総履修登録単位数}}$$

ホームページや学習要覧で示したGPAについては、前期末及び後期末に配布する成績通知書に通算GPAと当該年度GPAを明記しており、自身の学修成果を客観的に把握できる状況になっている。

なお、学生の成績が所属する学部学年でどの位置にあるかについては、学生の指導や学業奨励学生等の判定で利用する「GPA評価一覧表」で把握できている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ及び学習要覧等で公表 (https://www.akita-eiyo.ac.jp/school/guide)
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

秋田栄養短期大学では、学位授与方針を次のように定めている。

秋田栄養短期大学は、「人間性豊かな知性人、誠実で信頼性のある有能な職業人の育成」を目標に、多様化した現代社会の中で、広い視野と深い専門知識に裏打ちされた職業人としての知識と実践力を備えられるよう教育活動を展開しています。教育目標に掲げる事項及び次に掲げる能力を身につけ、かつ所定の単位を修得し卒業試験に合格した者に卒業を認定するとともに短期大学士（栄養学）を授与します。

1. 食を科学的に学び、食事づくりを通して人々の健康増進を支援できる知識と実践力を身につけた人。
2. 専門職に求められる責任感や職務実践力を身につけ、さらには多様化する現代社会の課題に対処するための努力を続けられる人。

(1) 卒業に要する最低単位数

卒業に要する最低単位数は、基礎教育科目 10 単位以上（必修 3 単位、選択 7 単位以上）、専門教育科目 52 単位以上（必修 24 単位、選択 28 単位以上）合わせて 62 単位以上とします。

(2) 卒業試験

本学は、卒業生として必要な知識・技能が身につけているかを確認するため卒業試験を実施します。本試験の合格は、ゼミナール（卒業必修）の単位認定の必要条件です。

(3) 栄養士免許の取得要件

本学において栄養士免許を取得しようとする者は、資格取得に関わる最低履修基準の 50 単位を含めて卒業要件単位を取得することが必要です。

また、学位授与方針にも明記しているが、教育目標に沿って配置した科目を履修して基準となる単位数を修得することが学位授与の要件となる。基準となる単位数は以下の通り。

科目区分	卒業所要単位数	
基礎教育科目	必修科目	3 単位
	選択科目	7 単位
	小計	10 単位
専門教育科目	必修科目	24 単位
	選択科目	28 単位
	小計	52 単位
合格最低単位数		62 単位

また、本学では 2 年次に学位授与方針へ明記している通り卒業試験を課している。卒業試験に合格することが、必修科目であるゼミナールの単位修得要件となる。このように、単位取得に関連してハードルを設けることで、厳格な運用を行っている。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ及び学習要覧等で公表 (https://www.akita-eiyo.ac.jp/nutrition/index#01)
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	秋田栄養短期大学
設置者名	学校法人ノースアジア大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.northasia.jp/other/data/03_keisan-r4.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.northasia.jp/other/data/03_keisan-r4.pdf
財産目録	https://www.northasia.jp/other/data/02_zaisan-r4.pdf
事業報告書	https://www.northasia.jp/other/data/04_jigyou-r4.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.northasia.jp/other/data/05_kansa-r4.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 公表方法: ホームページで公開 (https://www.akita-eiyo.ac.jp/info/report)
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページで公開 (https://www.akita-eiyo.ac.jp/info/report)
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 栄養学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ及び学習要覧等で公表）
（概要）（概要）秋田栄養短期大学は、教育基本法に則り教養教育との密接な関連のもとに科学的で、人間性豊かな栄養士を養成する上で必要な専門職業教育を施し、健全なる社会人を育成することをその主たる目的及び使命とする。 (1) 栄養士が果たすべき専門領域に関する基本となる能力を養う。 (2) 栄養士に必要とされる知識、技能、態度および考え方の総合能力を養う。 (3) 栄養の指導や給食の運営を行うために必要な能力を養う。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ及び学習要覧等で公表）
秋田栄養短期大学は、「人間性豊かな知性人、誠実で信頼性のある有能な職業人の育成」を目標に、多様化した現代社会の中で、広い視野と深い専門知識に裏打ちされた職業人としての知識と実践力を備えられるよう教育活動を展開しています。教育目標に掲げる事項及び次に掲げる能力を身につけ、かつ所定の単位を修得し卒業試験に合格した者に卒業を認定するとともに短期大学士（栄養学）を授与します。 1. 食を科学的に学び、食事づくりを通して人々の健康増進を支援できる知識と実践力を身につけた人。 2. 専門職に求められる責任感や職務実践力を身につけ、さらには多様化する現代社会の課題に対処するための努力を続けられる人。 (1) 卒業に要する最低単位数 卒業に要する最低単位数は、基礎教育科目 10 単位以上（必修 3 単位、選択 7 単位以上）、専門教育科目 52 単位以上（必修 24 単位、選択 28 単位以上）合わせて 62 単位以上とします。 (2) 卒業試験 本学は、卒業生として必要な知識・技能が身についているかを確認するため卒業試験を実施します。本試験の合格は、ゼミナール（卒業必修）の単位認定の必要条件です。 (3) 栄養士免許の取得要件 本学において栄養士免許を取得しようとする者は、資格取得に関わる最低履修基準の 50 単位を含めて卒業要件単位を取得することが必要です。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ及び学習要覧等で公表）

(概要)

本学の教育課程は建学の精神に則り、教育目標を達成するため卒業認定・学位授与の方針に沿って「基礎教育科目」と「専門教育科目」の2つの基本的枠組みで構成し、課外における活動を含めて体系的な編成をしています。

1. 基礎教育科目は、キャリア形成のための教養と豊かな人間性を養うとともに苦手科目や分野をなくす教育を含めて専門教育への円滑な導入を図ることをねらいとしています。
2. 専門教育科目は、栄養士に求められる知識・技能・態度・考え方の育成に結びつく「講義」、「演習」、「実験」、「実習」など多彩な学修形態を織り交ぜて体系的に編成しています。
3. 栄養士としての資質の向上を図るとともに、自ら課題を発見して解決する能力やコミュニケーション能力など社会人に求められる人間力の育成を目指して、正課の授業のほか、学生が主体的に参画する課外の諸事業を織り交ぜて教育プログラムを展開しています。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ及び大学案内・入試要項で公表）

(概要) 秋田栄養短期大学は、学生の目標の実現に向けた多様な指導と支援を通じて、学生が主体的に学べる教育体制を整えています。

本学の建学の精神と教育目標を理解し、日頃から礼節を重んじ、常に整容を心掛け、将来の目標の実現に向けてひたむきに努力する意欲を持った人を求めています。

本学は、次のような学生の入学を希望しています。

1. 食を通じた健康づくりに興味や関心のある人。
2. 食事の管理を中心とした栄養の専門職としての職務に就きたい人。
3. 保健・医療・福祉・教育などの分野で自分の夢を実現し、社会に貢献したい人。

そのため、高校卒業までに高校教育全般における基礎的な知識・技能のほか、口頭や文章による論理的表現力、食に関する幅広い教養、社会性を身につけておくことを求めます。

これらの資質を有しているかの判断は、調査書、学力試験、面接等を通じて行います。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページで公表

(<https://www.akita-eiyo.ac.jp/info/soshiki>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	人	—					人
	—	4人	2人	2人	1人	0人	9人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計	
2人			3人			5人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.akita-eiyo.ac.jp/nutrition/staff					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>授業アンケートが中心である。FD委員会が中心となって前期、後期に全科目を対象にアンケートを実施し、アンケート結果を基にした授業改善シートを科目担当者が作成。アンケート結果だけではなく、授業をどのように改善していくのかといった部分を学生が閲覧できるようになっている。結果は短大事務室のカウンター、図書館のカウンターに配置し、いつでも学生が自由に閲覧できるようになっている。</p> <p>また、授業見学会及び意見交換会を実施している。指定された授業を相互に見学し、教員間で意見交換を行うことで、授業レベルの向上を図っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
栄養学科	80人	38人	47.5%	160人	77人	48.13%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	80人	38人	47.5%	160人	77人	48.13%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	34人 (100%)	0人 (0%)	31人 (91.2%)	3人 (8.8%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	34人 (100%)	0人 (0%)	31人 (91.2%)	3人 (8.8%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内			
		卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
栄養学科	41人 (100%)	34人 (82.93 %)	人 (%)	7人 (17.07 %)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	41人 (100%)	34人 (82.93 %)	人 (%)	7人 (17.07 %)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 本学では授業計画（シラバス）を作成し、ポータルサイトで学生に周知するとともにインターネット上で公開している。シラバスには授業の内容や成績評価の方法・基準、到達目標等が載っている。</p> <p>シラバスの作成にあたっては、様々な事例や文部科学省のホームページ等を参照し、シラバスの作成要領である「〇〇年度シラバス作成の手引き」の見直しを教務委員会で検討する。その際は、見やすさはもちろんのこと、項目や記載内容の検討も併せて行っている。次年度科目担当者が決まり次第、作成要領である「〇〇年度シラバス作成の手引き」を授業科目担当者に送信し、シラバスの作成を依頼している。提出されたシラバスは、教務課職員及び教務委員がチェックし、必要であれば授業担当者との連絡を取りながら修正している。</p> <p>また、授業実施時期については、年間の行事日程をポータルサイトで学生に周知するとともにホームページ上で公開している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学では、ホームページ及び学習要覧上に、①単位認定については平常の学習態度と定期試験等の成績などを総合評価しその判定が合格点に達したとき認定されること、②単位認定の評価基準は次のとおりとすること、を明記している。またシラバスにも記載している。</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>判定</th> <th colspan="4">合格</th> <th>不合格</th> </tr> <tr> <th>評価</th> <th>秀</th> <th>優</th> <th>良</th> <th>可</th> <th>不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>点数</th> <td>90点以上</td> <td>89点～80点</td> <td>79点～70点</td> <td>69点～60点</td> <td>59点以下</td> </tr> </tbody> </table>	判定	合格				不合格	評価	秀	優	良	可	不可	点数	90点以上	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下
判定	合格				不合格													
評価	秀	優	良	可	不可													
点数	90点以上	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下													
<p>また、学位授与方針を次のとおり規定している。</p> <p>秋田栄養短期大学は、「人間性豊かな知性人、誠実で信頼性のある有能な職業人の育成」を目標に、多様化した現代社会の中で、広い視野と深い専門知識に裏打ちされた職業人としての知識と実践力を備えられるよう教育活動を展開しています。教育目標に掲げる事項及び次に掲げる能力を身につけ、かつ所定の単位を修得し卒業</p>																		

試験に合格した者に卒業を認定するとともに短期大学士（栄養学）を授与します。

1. 食を科学的に学び、食事づくりを通して人々の健康増進を支援できる知識と実践力を身につけた人。
2. 専門職に求められる責任感や職務実践力を身につけ、さらには多様化する現代社会の課題に対処するための努力を続けられる人。

(1) 卒業に要する最低単位数

卒業に要する最低単位数は、基礎教育科目 10 単位以上（必修 3 単位、選択 7 単位以上）、専門教育科目 52 単位以上（必修 24 単位、選択 28 単位以上）合わせて 62 単位以上とします。

(2) 卒業試験

本学は、卒業生として必要な知識・技能が身についているかを確認するため卒業試験を実施します。本試験の合格は、ゼミナール（卒業必修）の単位認定の必要条件です。

(3) 栄養士免許の取得要件

本学において栄養士免許を取得しようとする者は、資格取得に関わる最低履修基準の 50 単位を含めて卒業要件単位を取得することが必要です。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	栄養学科	62 単位	④・無	48 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：学生の成績指導、学業奨学生、卒業時の表彰等の判定資料等に活用している。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページで公表
(<https://www.akita-eiyo.ac.jp/info/koukai>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	栄養学科 (1年)	588,000円	200,000円	346,500円	230,000円(施設設備費) 92,000円(資料等諸費) 24,500円(課外活動諸費)
	栄養学科 (2年)	588,000円	円	346,500円	230,000円(施設設備費) 92,000円(資料等諸費) 24,500円(課外活動諸費)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生の修学にあたっては、入学前研修、入学後の各種ガイダンス、1年次必修科目である入門科目(基礎演習)等を通じて、担当教員等がきめ細かく指導している。また、単位数が標準よりも不足している者、GPAが著しく低い学生に対しても、成績発表後に個別に面談を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) ゼミナール担当教員を中心に、学科とキャリアセンターが連携して、学生個々の進路希望を把握した支援体制を整えている。各学年を対象としたキャリア形成の講義、就職試験対策、個別の進路相談のほか、就職支援会議を定期的で開催することで教職員間での情報共有を行い、学生の希望進路の実現に向けて取り組んでいる。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 毎年度始めに全学生を対象とした健康診断を行っており、検査結果に問題のあった学生には保護者等に通知するとともに病院を紹介し受診させている。また健診結果を基に、BMIに問題のある学生を定期的にチェックし、食事指導を行っている。また、保健室では疾病、心身の健康に関する相談に随時応じている。なお、より秘匿性の高い相談については、学生相談室で担当教員が相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表 (https://www.akita-eiyo.ac.jp/info/koukai)
